

## 平成 28 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン離島・僻地医療実習

実習生：津田 翔真

実習先：長崎県五島中央病院

実習期間：平成 28 年 12 月 1 日 (木)～12 月 28 日 (水)

実習生感想：

今回私はがんプロの離島・僻地医療実習として五島中央病院で 1 ヶ月の実習をさせていただきました。五島中央病院は、五島市の中核病院として地域医療を支えています。病棟数は一般 230 床、結核 10 床、精神 60 床、感染症 4 床の計 304 床となっております。五島中央病院に口腔外科はありませんでしたが、今回の実習にて内科の外来診察では、患者の主訴に対する検査や診察・診断を見学させていただき、病棟では化学療法や患者管理について学ばせていただきました。内視鏡検査や気管支鏡検査、カテーテル治療などといった専門的な分野においても見学させていただきました。

がん治療に関しましては、画像診断や生検といった検査や化学療法による治療を見学させていただきました。長崎市や佐世保にて外科的処置を行い、その後の管理を五島中央病院で行うことにより、島での生活を行うことができている患者もいらっしゃいました。五島中央病院には診療科に歯科が存在しないため、私が行うことができることは限られていましたが、月曜午後に嚥下専門看護師・言語聴覚士・栄養士にて行われている嚥下ラウンドと一緒に回ることで、嚥下についての知識を更に深めると共に、口腔内に問題を抱えている患者の診察や診断、口腔ケアを行って行きました。私の実習中に左下の奥歯を抜歯したことにより急性炎症を引き起こし、口腔内と交通する大きな外歯瘻を形成していた患者がいました。洗浄を行い慢性化しましたが、口腔内に露骨を認めていましたので処置が必要であると判断しましたが、五島中央病院では処置ができないために長崎大学病院への紹介となりました。他の入院患者におきましても治療の介入が必要と思われる口腔内状況の方が多数おり、口腔衛生管理の重要性を改めて感じました。

現在歯科的処置の必要な患者には近隣の歯科医院の先生が介入しているとのことですが、積極的な歯科治療の介入は困難であるとのことでした。



### VF 検査

麺類を食べたいという摂食嚥下困難な患者に対しバリウム入りうどんを作り検査を行いました。



### 嚥下ラウンドチーム

放射線技師や耳鼻科の先生と共に嚥下機能評価を行っています。



学生のバリウム入りうどん試食  
検査体験



大瀬崎灯台と福江の海  
自然に恵まれた地でとても気持ちのよいものでした。



報告会にて